



平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平 了寿

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年8月期第1四半期 | 15,300 | △7.7 | △477 | — | △469 | — | △494 | — |
| 28年8月期第1四半期 | 16,580 | △1.5 | △329 | — | △332 | — | △354 | — |

(注) 包括利益 29年8月期第1四半期 △472百万円 (—%) 28年8月期第1四半期 △337百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年8月期第1四半期 | △23.91 | — |
| 28年8月期第1四半期 | △17.15 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 |
| 29年8月期第1四半期 | 40,759 | — | 22,535 | — | 54.9 | 1,080.98 |
| 28年8月期 | 41,010 | — | 23,174 | — | 56.1 | 1,112.05 |

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 22,359百万円 28年8月期 23,001百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 28年8月期 | — | 6.00 | — | 8.00 | 14.00 |
| 29年8月期 | — | — | — | — | — |
| 29年8月期(予想) | — | 6.00 | — | 8.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 33,700 | △3.5 | 270 | 307.9 | 290 | 378.9 | 80 | — | 3.87 |
| 通期 | 67,750 | △1.1 | 700 | — | 740 | — | 180 | △87.3 | 8.70 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------------|--------------|----------|--------------|
| 29年8月期1Q | 21,198,962 株 | 28年8月期 | 21,198,962 株 |
| ② 期末自己株式数 | 514,689 株 | 28年8月期 | 514,689 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 20,684,273 株 | 28年8月期1Q | 20,684,273 株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策及び金融政策の効果もあり、引き続き景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、海外経済では、新政権による米国経済の先行き動向、中国経済の減速、欧州の政治リスクなどの懸念もあり、依然として不透明な状況が続いております。一方、外食業界におきましては、消費マインドの低迷が続く一方で、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得競争がさらに激化しており、厳しい環境下にあります。

このような状況の中で、当社グループは、当期における最重要経営課題を「将来に向けた収益基盤の確立」と認識し、前期に引き続き新しい「専門店」業態の出店を積極的に進め、店舗改装の強化、店舗業態ポートフォリオの充実化を図るとともに、MD（マーチャンダイジング）改革の推進、外販事業やインバウンド事業の拡大など、様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を3店舗、店舗改装を32店舗（うち24店舗は「カラオケ・歌うんだ村」から「カラオケ・ファンタジー」への業態転換）、店舗閉鎖を6店舗で行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ7.7%減少の15,300百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比98.0%と減少したことや、前期に実施した店舗閉鎖による売上減少が大きく影響し、売上高は前年同期に比べ10.8%減少の12,269百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.5%増加の1,066百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.1%増加の270百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.1%減少の100百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ11.9%増加の1,593百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業損失は477百万円（前年同期は営業損失329百万円）、経常損失は469百万円（前年同期は経常損失332百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は494百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失354百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は17,951百万円となり、前連結会計年度末に比べて673百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,098百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は22,807百万円となり、前連結会計年度末に比べて423百万円増加となりました。これは、店舗改装等により建物及び構築物（純額）が360百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,068百万円となり、前連結会計年度末に比べて756百万円増加となりました。これは、未払金が588百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は8,155百万円となり、前連結会計年度末に比べて368百万円減少となりました。これは、長期借入金が増加したことに対し、役員退職慰労引当金が581百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は22,535百万円となり、前連結会計年度末に比べて639百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が659百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社の事業年度における収益構造として、主力事業である飲食事業におきましては、各四半期別にお客様の飲食需要の変化に伴う季節要因による変動が非常に大きい、という事業特性があります。

特に、第1四半期（9～11月）の収益構造としては、売上高が他の3四半期間に比べて少なく、利益面についても同様に他の3四半期に比べて大きく低下するという特性があります。逆に、忘年会・新年会という年間を通して最大の宴会需要期となる第2四半期（12～2月）は、売上高及び利益水準とも非常に高くなる特性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,071 | 13,973 |
| 売掛金 | 1,913 | 1,912 |
| 有価証券 | 30 | 33 |
| 商品及び製品 | 452 | 509 |
| 仕掛品 | 1 | 0 |
| 原材料及び貯蔵品 | 158 | 165 |
| 繰延税金資産 | 302 | 462 |
| その他 | 859 | 1,066 |
| 貸倒引当金 | △164 | △173 |
| 流動資産合計 | 18,625 | 17,951 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,351 | 5,711 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 439 | 484 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 435 | 433 |
| 土地 | 4,268 | 4,268 |
| リース資産（純額） | 307 | 268 |
| 建設仮勘定 | 139 | 144 |
| 有形固定資産合計 | 10,941 | 11,311 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 913 | 913 |
| リース資産 | 3 | 3 |
| その他 | 408 | 414 |
| 無形固定資産合計 | 1,325 | 1,330 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 261 | 284 |
| 出資金 | 4 | 4 |
| 長期貸付金 | 19 | 19 |
| 差入保証金 | 5,912 | 5,996 |
| 敷金 | 3,581 | 3,557 |
| 繰延税金資産 | 161 | 127 |
| その他 | 260 | 258 |
| 貸倒引当金 | △83 | △82 |
| 投資その他の資産合計 | 10,118 | 10,165 |
| 固定資産合計 | 22,384 | 22,807 |
| 資産合計 | 41,010 | 40,759 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (平成28年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,064 | 1,990 |
| 短期借入金 | 125 | 225 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,129 | 2,284 |
| 1年内償還予定の社債 | 120 | 120 |
| リース債務 | 163 | 141 |
| 未払金 | 2,539 | 3,128 |
| 未払法人税等 | 954 | 162 |
| 未払消費税等 | 251 | 390 |
| 賞与引当金 | 396 | 500 |
| 株主優待引当金 | 122 | 87 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 23 | 13 |
| 資産除去債務 | 23 | 8 |
| その他 | 396 | 1,015 |
| 流動負債合計 | 9,311 | 10,068 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30 | 30 |
| 長期借入金 | 3,762 | 3,962 |
| リース債務 | 222 | 192 |
| 退職給付に係る負債 | 1,671 | 1,696 |
| 役員退職慰労引当金 | 863 | 282 |
| 受入保証金 | 582 | 591 |
| 資産除去債務 | 1,386 | 1,388 |
| 繰延税金負債 | 3 | 3 |
| その他 | 0 | 8 |
| 固定負債合計 | 8,523 | 8,155 |
| 負債合計 | 17,835 | 18,223 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,626 | 8,626 |
| 資本剰余金 | 9,908 | 9,908 |
| 利益剰余金 | 4,944 | 4,284 |
| 自己株式 | △602 | △602 |
| 株主資本合計 | 22,876 | 22,216 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 131 | 148 |
| 土地再評価差額金 | △5 | △5 |
| その他の包括利益累計額合計 | 125 | 143 |
| 非支配株主持分 | 172 | 175 |
| 純資産合計 | 23,174 | 22,535 |
| 負債純資産合計 | 41,010 | 40,759 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自平成27年9月1日 至平成27年11月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自平成28年9月1日 至平成28年11月30日） |
|---------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 売上高 | 16,580 | 15,300 |
| 売上原価 | 6,301 | 5,967 |
| 売上総利益 | 10,279 | 9,333 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,608 | 9,811 |
| 営業損失（△） | △329 | △477 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 2 | 2 |
| 受取保険金 | — | 5 |
| その他 | 15 | 17 |
| 営業外収益合計 | 18 | 26 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 8 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | 0 |
| その他 | 6 | 8 |
| 営業外費用合計 | 21 | 17 |
| 経常損失（△） | △332 | △469 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 受取補償金 | 13 | — |
| 特別利益合計 | 13 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 12 | — |
| 固定資産除却損 | 13 | 48 |
| 店舗関係整理損 | 10 | 20 |
| 減損損失 | 44 | 15 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | — | 1 |
| 特別損失合計 | 80 | 85 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △400 | △554 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74 | 69 |
| 法人税等調整額 | △124 | △133 |
| 法人税等合計 | △49 | △63 |
| 四半期純損失（△） | △350 | △490 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 3 | 3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △354 | △494 |

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自平成27年9月1日 至平成27年11月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自平成28年9月1日 至平成28年11月30日） |
|-----------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 四半期純損失（△） | △350 | △490 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7 | 17 |
| 土地再評価差額金 | 5 | — |
| その他の包括利益合計 | 12 | 17 |
| 四半期包括利益 | △337 | △472 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △341 | △476 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 3 | 3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年9月1日 至 平成27年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|-----------|-------------------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------------------|
| | 飲食事業 | 卸売事業 | 不動産事 業 | フラン チャイズ事 業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,756 | 1,040 | 257 | 101 | 15,156 | 1,424 | 16,580 | — | 16,580 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 7 | 2,452 | 125 | — | 2,586 | 246 | 2,832 | △2,832 | — |
| 計 | 13,764 | 3,493 | 383 | 101 | 17,742 | 1,670 | 19,413 | △2,832 | 16,580 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △56 | 100 | 83 | 69 | 196 | 30 | 226 | △556 | △329 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△556百万円には、セグメント間の取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において44百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年9月1日至平成28年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|-----------|-------------------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------------------|
| | 飲食事業 | 卸売事業 | 不動産事 業 | フランチ ャイズ事 業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,269 | 1,066 | 270 | 100 | 13,707 | 1,593 | 15,300 | — | 15,300 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 0 | 2,553 | 101 | — | 2,655 | 274 | 2,930 | △2,930 | — |
| 計 | 12,269 | 3,620 | 372 | 100 | 16,362 | 1,868 | 18,231 | △2,930 | 15,300 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △177 | 87 | 85 | 70 | 67 | 56 | 123 | △601 | △477 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△601百万円には、セグメント間の取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△600百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において15百万円であります。

以上